



防災教育出前講座



11月16日(金)に防災教育出前講座が行われました。この出前講座の目的は、「集中豪雨等による洪水や土砂災害の自然災害から自分の命を守るための知識を身につけ、防災意識の高い人材を育成する」ために行われます。

講師として来校した南会津建設事務所の横山様、福島県山口土木事務所の櫻田様より、豪雨、洪水災害や土砂災害についてスライドを通してわかりやすく詳しく説明していただきました。生徒たちは、小学生の時、平成27年の9月の集中豪雨があり、川の氾濫等による道路寸断があり命の危険、生活の不便さを体験してきました。自然災害にあった経験を生かし、洪水・土砂災害等の知識を深め、一人一人に配付された館岩地区のハザードマップで自宅近辺の危険性がある場所の確認や、避難方法等を学ぶことができました。

講師の先生の話聞いたあと、質問がないかと聞かれると、3名の生徒(3年Yくん、2年Hくん、1年Hくん)が積極的に手を上げ、「砂防ダムをつくるのにどれくらいの費用がかかるのか、避難するときにはどんなものをもって避難するのか、館岩地区でまた被害が起こる災害が発生する可能性は」等の質問をしました。意欲的に発言する姿、さすが館中生です。今後わからないことや疑問点等どんどん発表する姿が見られることを期待しています。

最後に生徒会長のHさんが御礼の言葉を述べ、多くのことを学んだ出前講座が終わりました。

ぜひ、ご家庭でもハザードマップ等を使って、危険箇所の確認や、避難方法、避難した際どこの場所に集合するかなどお子様とともにお話いただきたいと思います。

2学期最後の定期テスト



【1年数学のテストの様子】

【2年国語のテストの様子】

【3年社会のテストの様子】

11月21日(水)、11月22日(木)の二日間、2学期定期テストが行われました。3年生にとっては、進路に向けてとても大切なテストです。1・2年生にとっても2学期どれくらい学習内容が定着しているのが確かめるためにも重要なテストです。休み時間や放課後等、時間を惜しんでテスト勉強をしている生徒もおり、結果が楽しみです。

三者相談が終わりました

11月13日(火)から行われていた三者相談が11月20日(火)に終了しました。お忙しい中、保護者の皆様には来校していただき感謝申し上げます。三者相談で話し合った内容が生徒たちの今後の学習、生活に生かされるように学校で取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭でもご支援、ご協力よろしくお願ひします。

南会津町中高生海外交流事業活動報告書

7月25日(水)から8月4日(土)の日程で、南会津郡内の中高生がオーストラリア シドニーに研修に行きました。本校からは2年Hさん、Hさんが参加しました。研修の報告書を下記に掲載します。中学1年生は来年度の参考にしてください。今回は、Hさんの報告書です。(次号はHさんの報告書に掲載します。)

私は、南会津町中高生海外交流事業で行ったオーストラリアで、日本との文化や習慣の違いなどを学び、たくさんの方を経験して行くことができました。

オーストラリアには、たくさんの方の観光地がありました。オペラハウス、ハーバーブリッジ、ブルーマウンテンやマンリービーチ、セントメアリー大聖堂などに行きました。テレビや雑誌では見たことがあるものでしたが、実際に見ると感動が大きかったです。特に、ブルーマウンテンとセントメアリー大聖堂はすごかったです。ブルーマウンテンでは大きな渓谷、砂岩の絶壁があり、さらにはスリーシスターズと呼ばれている3つ並んだ大きな岩があり、自然にできたと知りすごいいと感じました。セントメアリー大聖堂は、窓の部分がすべてステンドグラスで細かく作られていて、中もとてもきれいで感動しました。日本ではできない観光をすることができました。

語学研修として行ったエリザベスマッカーサーハイスクールという学校では、日本の学校ととても異なっていることが多くありました。まず、私たちの学校では50分の授業が6時間あり、部活動がありますが、オーストラリアの学校では、1時間の授業が5時間と昼食を取ったり遊んだりする休み時間の30分が2回ありました。普通の学校より5時間ほど短く驚きました。次に、生徒みんながフレンドリーということです。私はもっと変な目で見られるかと思っていました。ですが、バディの2人や同じクラスの子たちは気軽に話してくれ、授業の内容が分からない時は翻訳して教えてくれ、とても優しくかったです。そして、同じクラスでもない生徒たちにも廊下ですれ違う時にハローと手を振ってくれ、私もそんな人になれたらいいなと思いました。次に、数学の時に気づき驚いたことです。日本では円周率は3.14となっていますが、オーストラリアでは3.1416でした。今まで外国の円周率など気にしたこともなく、世界共通だと思っていたのでとても驚きました。

今回の交流事業では、ホームステイをしました。私がホームステイした家はお母さん、お父さん、3姉妹のインド系の家族でした。家族のみんなは仲良く、とても優しく接してくれました。さらに、ホームステイのお母さんは仕事で面倒を見られない子や、障害のある子を無料で預かっていた。困っている人の力になっているお母さんには感激しました。また、私と同じ年の子は小さい頃から水泳をやっていて、私も見に行きましたがフォームがきれいでとても速かったです。お母さんに「速いですね」と言ったら、お母さんは「あの子は、オリンピックに出るかもしれない」と言っていました。オリンピックを目指して練習している同じ年のダルシを見て、憧れました。まさかホームステイの家族に、こんなにも心を動かされるとは思っていませんでした。

もちろん私がオーストラリアのことを知るだけでなく南会津のことも伝えてきました。家の周りや雪の写真を見せたり、パンフレットを見せ話しました。

この交流事業でオーストラリアの学校の良い所と悪い所を見付けました。良いと感じた所は、授業中みんな積極的に手を挙げ発言していたことです。私は手を挙げることを恥ずかしく感じ発言することができませんでした。これからは積極的に発言をしようと思いました。悪い所は、掃除をしない所です。オーストラリアの学校では、道にガムやりんごやパックのごみなどたくさん落ちていました。同じクラスの子は学校で掃除をしないと言っていました。私の学校では毎日掃除をすると伝えたらとても驚いていました。この日本の良い所は継続していければいいなと思いました。

交流事業を通し、オーストラリアの子だけでなく他校の子とも親しくなることができ、とてもたくさんの方の事を学ぶことができました。